

**DX推進建政WG**

## 目標

国営公園の運営維持管理において、DXの導入によるサービスの向上、業務の効率化等を促進する。

## 取組内容

国営公園の運営維持管理において、AI画像解析による野生動物の侵入状況の把握、草刈りの自動化、AIカメラによるナンバープレート情報取得等の実証実験を行い、課題や導入範囲を明確にするとともに、その他の技術も実証実験に向けた情報収集や検討を進め、各技術の実装化に向けた取組を進める。

### AI技術を活用した熊判別システム

- 熊の侵入に伴う公園の閉園判断を行う必要から、これまでは写真の目視による判別を行ってきたが、AI技術を活用による効率化を図る（国営アルプスあづみの公園）。

#### Before

- 侵入センサーにより自動撮影された全写真を目視にて確認



#### After

- AIによる侵入写真の自動判定により熊の侵入を判別



### 草刈りの自動化・無人化

- 草刈り作業を、有人から無人作業にすることで、事故防止やコスト削減を図る（国営東京臨海広域防災公園、国営昭和記念公園）。



ロボットによる除草作業

### 新規

### AIカメラによるナンバープレート情報の取得

- これまでは目視による情報取得を行ってきたが、AIカメラの活用により、年間を通して効率的にナンバープレート情報を取得し、公園の利用実態の把握や渋滞対策への活用を図る（国営常陸海浜公園）。



AIカメラによるナンバープレート情報取得のイメージ

令和3年度

令和4年度

令和5年度

野生動物判別システムや草刈り自動化等について、公園内における実証実験・運用、検証

継続的に新たな技術の検証を行うとともに、導入可能な技術を順次運用開始

## R4実施目標

- ・野生動物判別システム、自動芝刈に係る実証実験、AIカメラによるナンバープレート情報取得等の導入に向けた課題や手続きの検討を継続
- ・その他のDXに関連する技術の実証実験に向けた情報収集・検討等を実施

## R4実施計画

実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
DXの推進に向けた検討 (野生動物判別システム、 自動芝刈り機、ナンバー プレート情報取得等)	熊判別システム、自動芝刈機の実証実験、AIカメラによるナンバープレート情報取得等			
本省、地方公共団体等との 意見交換	その他の技術に係る意見交換		熊判別システム、自動芝刈り機、 ナンバープレート情報取得に係る 意見交換	
公園サブグループWG		○	○	○
建政WG	○	○	○	○
広報計画	ホームページまたはそのほかWEB媒体にて情報発信			R4年度試行結果 R5年度方針公表 (第4四半期)

### ※特記事項

- ・国営アルプスあづみの公園にて、AI画像解析による野生生物判別システムの実証実験中
- ・国営昭和記念公園、国営東京臨海広域防災公園にて、芝刈り作業の自動化・無人化作業の実証実験中

**目標** 地方公共団体が行うまちづくり・すまいづくりにおけるDXの取組みについて、情報共有や普及啓発等による支援を行うことで、DXを活用した各事業の効率化等を促進する。

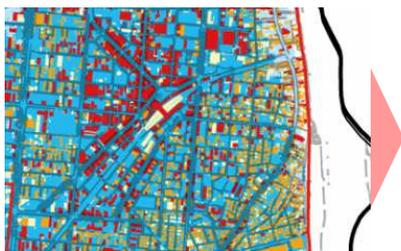
**取組内容** 都市、住宅、下水道等の分野におけるDXの取組みとして、本省において、3D都市モデルの活用(都市局)、空き家バンクによる空き家活用事務の効率化(住宅局)、下水処理場の運転管理の最適化・効率化(下水道部)等を推進しており、これらの先進事例や課題の共有を図る。

### 3D都市モデルの活用

• これまでは2D図面によりまちづくりの検討を行っていたが、3Dモデルや各種データを活用した検討の高度化を行う自治体を支援する。

#### Before

• GIS(2D)上でのオーバーレイにより現状分析。



ハザード情報の2D表示

#### After

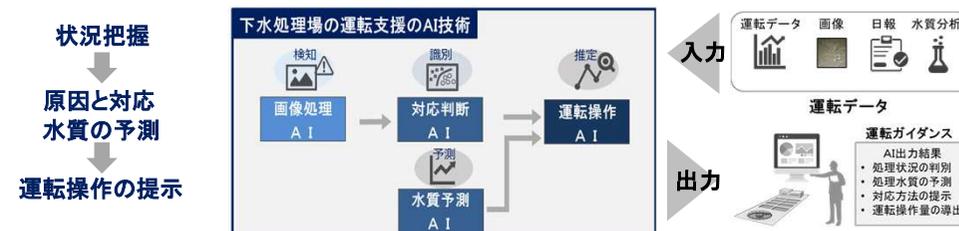
• 3Dモデル上での重ね合わせにより可視化し、現状分析・検討を高度化。



ハザード情報の3D表示

### 下水処理場の運転管理の最適化・効率化

- 自治体をフィールドとして、画像処理や対応判断等を行うAIを用いた下水処理場の水質安定化、維持管理コストの低減効果を実証
- 実証を踏まえてガイドラインを策定し、下水処理場の運転管理の最適化・効率化に取り組む自治体を支援



※令和3年度より下水道革新的技術実証事業にて実証

### 空き家バンクによる空き家活用事務の効率化

- 全国版空き家・空き地バンクへの参加を推進することで、自治体の空き家活用の事務の効率化を図る。

令和3年度

DX推進支援に向けた方針・  
具体的取組みの検討

令和4年度

情報共有・普及啓発のための取組みを実施

令和5年度

R4実施目標

・地方公共団体が行う、まちづくり・すまいづくりにおけるDXの取組みについて、情報共有や普及啓発等による支援を行うことで、DXを活用した各事業の効率化等を促進する。

R4実施計画

実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
DXの推進に向けた情報共有・普及啓発等	セミナー等を開催			
本省、地方公共団体等との意見交換				
建政WG	○	○	○	○
広報計画				R4年度試行結果 R5年度方針公表 (第4四半期)

※ 実施計画の進行状況は、黒い矢印と赤い丸で示されています。建政WGは各四半期に開催され、広報計画は第4四半期に試行結果と方針公表が行われます。

※特記事項

・R3に作成した3D都市モデルの手順書を用いて、3D都市モデルの活用推進に向けた自治体との意見交換を実施中

**目標** ICTツールの活用等を通じた職員間のコミュニケーションの円滑化及び他機関等との打合せ等の効率化や、許認可業務における電子申請等の円滑な活用を通じて、業務の円滑化・効率化等を図る。

## 取組内容

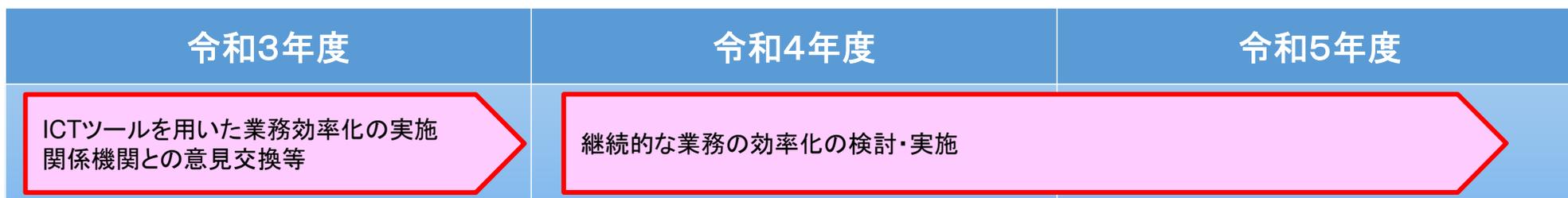
- ・日常業務において、Microsoft Teams等のICTツールを活用することにより、打合せやセミナー・研修の開催を効果的・効率的に行う。
- ・建設業関係事務の電子化の動きに対応し、効率的な審査方法の検討を進める。
- ・交付金・補助金関係事務へのRPAの導入に向けて、総務部と連携して検討を行う。 **新規**

### ICTツールを活用したコミュニケーションの円滑化・業務の効率化

- ・WLBの重点取組テーマとして進めているコミュニケーションの円滑化の取組として、これまでMicrosoft Teamsの活用事例の部内共有などを行っており、引き続き、参考となる事例の収集や、部内での情報共有を進めながら、ICTツールを用いた業務の効率化を進める。
- ・他機関との打合せや、主催セミナー等においてICTツールを活用し、打合せの効率化や、セミナー等における多様な講師や参加者の確保等につなげ、効果的・効率的な業務の実施を推進する。

### 建設業許可・経営事項審査の電子化への対応

- ・本省において、令和5年1月からの建設業許可・経営事項審査の電子化に向けた検討が進められており、具体的な方向性等を踏まえ、電子化に対応した審査方法等の検討を深めていく。



※今後の予定は現時点の想定であり、現場実証等の進捗状況により、変更等が生じる場合があります。

R4実施目標

- ・Microsoft Teams等のICTツールを活用し、地方公共団体職員等を対象した情報提供(Webセミナー等)を効果的・効率的に行う。
- ・建設業関係事務の電子化の動きに対応し、効率的な審査方法の検討を継続する。
- ・交付金・補助金関係事務へのRPAの導入に向けて、総務部と連携して検討を行う。

R4実施計画

実施項目	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
ICTツールを活用した審査業務・交付金等業務・打合せ等の効率化	●————→			
本省、地方公共団体等との意見交換	●————→			
建政WG	○	○	○	○
広報計画				R4年度試行結果 R5年度方針公表 (第4四半期) ○

※特記事項

- ・建政部セミナー: 地方公共団体や民間事業者を対象とした、幅広いテーマのセミナーを実施  
 R3実績: 第16回住宅福祉の連携など(R3.8.4 登録273名)、第17回リノベーションまちづくりなど(R4.2.28 登録458名)、第18回住宅団地再生など(R4.3.23 登録84名)
- ・令和5年1月の建設業許可・経営事項審査の電子申請に向けて、運営協議会における電子申請方式の議論等を踏まえ、当該申請に対応した効率的な審査方法等を検討